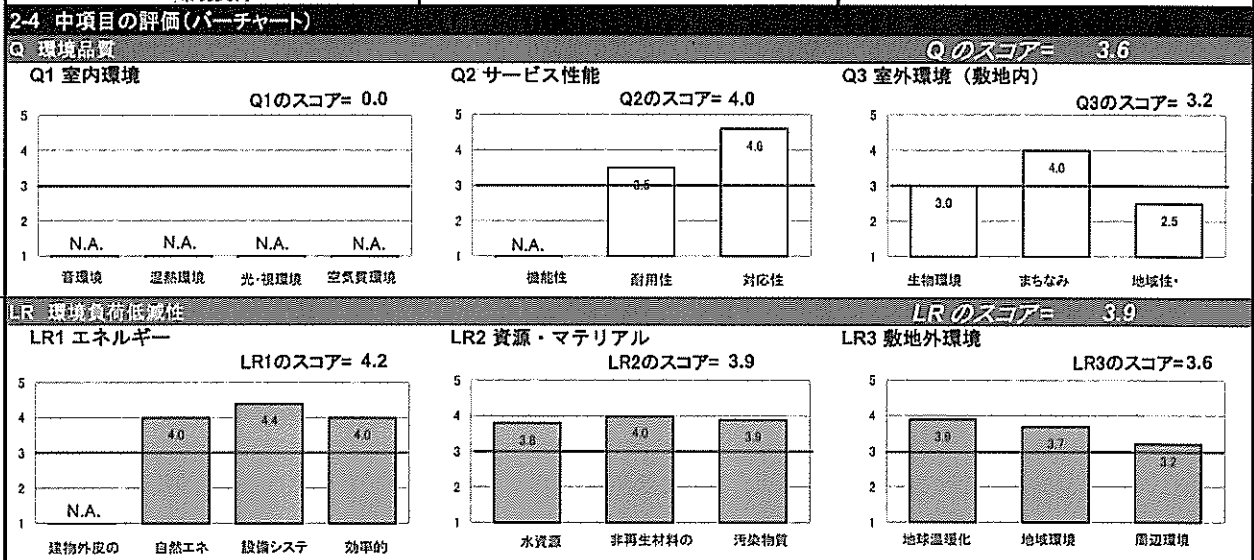
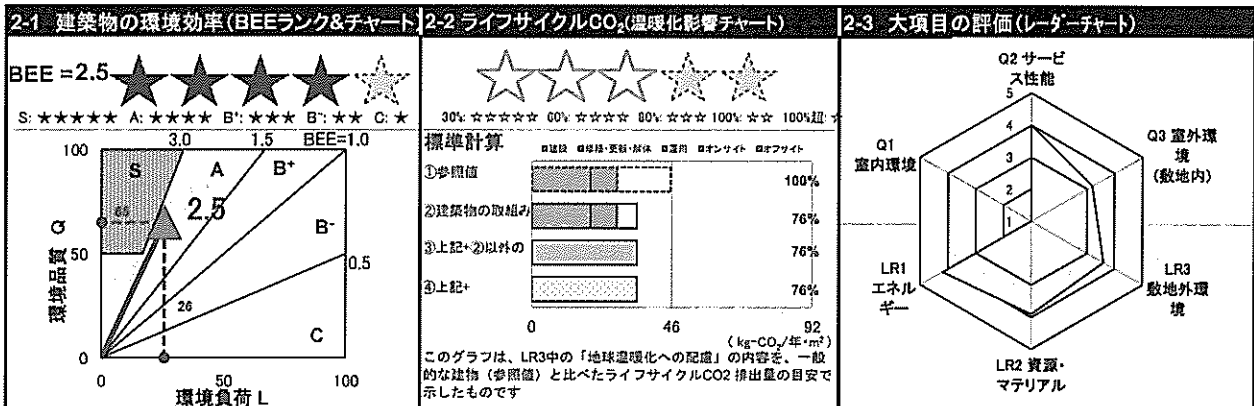


CASBEE®-建築(新築) 評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版_速報版 (使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v2.3.4))

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	ロジスクエア京田辺B新築工事	階数		
建設地	京都府京田辺市大住池島39-1ほか	地上4F		
用途地域	工業専用地域、法第22条地域	構造		
地域区分	6地域	平均居住人員		
建物用途	工場	年間使用時間		
竣工年	2026年7月 予定	評価の段階		
敷地面積	39,867 m ²	評価の実施日		
建築面積	23,868 m ²	作成者		
延床面積	90,422 m ²	確認日		
		確認者	㈱錢高組一級建築士事務所	



3 設計上の配慮事項		
総合 耐用年数が長い材料を使用している。 ライフサイクルCO₂排出率の低減に努め、地球環境保護に配慮している。		その他 ・特に無し。
Q1 室内環境 対象外。	Q2 サービス性能 耐用年数が長い材料を使用している。 災害時における設備機能の信頼性は高い。	Q3 室外環境(敷地内) 緑地帯を設け、周辺環境と調和した外構計画としました。また空調機の熱源についてはすべて電気にて行い、排熱を抑える計画としました。
LR1 エネルギー 省エネルギー対策として、設備システムの効率化を図りました。 BEI=0.38	LR2 資源・材料 節水コマなどに加えて、省水型機器(節水型便器)を用いている。雨水利用設備設置している。リサイクル材を活用している。地域産木材を使用している。ODP=0、GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用。	LR3 敷地外環境 LCCO₂排出率76%。 燃焼機器を使用していない。 光害の抑制に配慮している。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される